



み や が や

が っ こ う き ょ う い く も く ひ ょ う
～学校教育目標～

じ ぶ ん み み ら い こ
自分を見つめ ともに 未来をつくる子

- 【知】 ひび あ ゆた まな なか じぶん み たんきゅう こ
響き合う豊かな学びの中で 自分を見つめ ともに 探究する子
- 【徳・体】 たくましく しなやかな こころ からだ たが たいせつ こ
たくましく しなやかな 心と体を持ち 互いを大切に し ともに けんこうな生き方をつくる子
- 【公・開】 ひと かか あ ほこ あたら か ち だ こ
人やまちと関わり合いながら まちに誇りをもち ともに 新しい価値をつくり出す子

「 みやがやのまちとともに育つ子どもたち 」

校長 羽山 康和

先日、校舎内のスロープに掲示している明治時代から現在まで続く、「6年生学級集合写真」を見ていた地域防災拠点運営委員の方々が、「あ、これは自分だ」「懐かしいなあ」と声を上げていらっしゃいました。しばらくの間、その当時の思い出話に花が咲き、とても和やかな雰囲気に包まれていました。スロープを飾る「6年生学級集合写真」は、その枚数なんと481枚。授業参観で訪れた本校卒業生である保護者の方々や祖父母の方々、来年度入学予定児童の保護者の方々等が写真を見つめる姿も多く、幸せな風が流れる空間となっています。本校自慢の場所と言えます。

宮谷小学校には「開校119年目」という長い歴史があります。その歴史は単に写真や記録として残っているだけではありません。かつて宮谷小学校で学んだ方々が成長し、現在は地域を支える立場となって、再び学校に関わってくださっています。その姿を見ながら、学校は子どもたちだけの場所ではなく、地域の皆様にとっても大切な思い出の場所であり、地域そのものの財産なのだと改めて感じています。

夏休みには、各自治会・町内会で開催された夏まつりを訪問しました。会場には、友達や家族と楽しそうに過ごす子どもたちの笑顔があふれていました。学校で見せてくれる表情とはまた一味違った表情で地域の方々と交流する姿から、子どもたちが地域の中で温かく見守られながら育っていることを実感しました。

9月8日には、校外委員の皆様にもご来校いただき、登校班指導を行いました。登校の約束や課題を確認し、安全な登下校について考える機会となりました。毎日の登校は当たり前のように見えますが、子どもたちの安全・安心のためには保護者や地域の皆様の見守りがあります。子どもたちの当たり前の日常は、多くの方々の支えによって守られていることを改めて感じています。

9月中には、「ふれあい☆みやがやまつり」が開催されます。宮谷小学校と軽井沢中学校のPTAが力を合わせ、子どもたちのために準備を進めてくださっています。子どもたちも今から大変楽しみにしています。当日を迎えるまでには、多くの方々の時間や思いが込められていることを、子どもたちにも気付いて欲しいと思っています。また、「軽井沢中・宮谷小 学校運営協議会」も開催します。その協議会では、学校運営協議会委員の方々による軽井沢中学校の授業参観や意見交換を通して、小中9年間を見通した子どもの成長について考える予定です（12月には委員の方々による宮谷小の授業参観も予定しています）。

さらに、10月には「宮谷小スポーツフェスタ2026」を開催します。子どもたちは、それぞれの目標に向かって練習に励みながら、仲間と協力することの大切さを学んでいます。当日を迎えることが、とても楽しみです。

上記のように、最近のできごとやこれから予定している活動を書き出してみると、あらためて「学校教育は教職員だけで実現できるものではない」ということを強く感じます。保護者の皆様、地域の皆様、そして様々な立場で学校を支えてくださる方々のご尽力によって成り立っています。子どもたちには、自分たちが多くの人々に見守られ、応援されていることを感じながら成長して欲しいと思います。そして、子どもたちが将来、今度は地域を支える側として、みやがやのまちに関わってくれることを願っています。

秋の気配を感じられるようになるであろう10月。保護者・地域の皆様におかれましては、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆宮谷小のこと、様々に情報発信をしています。「 [検索](#) → [note](#) [宮谷小](#) 」

